



御成門だより

教育目標

「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」
〒105-0003 港区西新橋3-25-30 電話 03-3436-3551 FAX03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-ky. ed. jp

私の「〇〇の秋」

校長 佐藤 太

10月（神無月）、空高く清々しい季節を迎えます。今年度の学校生活も後6ヶ月、折り返しの月です。世間では、この時期をよく「〇〇の秋」と言いますね。私が思いっただけでも「実りの秋」、「芸術の秋」、「食欲の秋」、「スポーツの秋」、「勉学の秋」、「収穫の秋」、「読書の秋」、「行楽の秋」、「紅葉の秋」と沢山出てきます。さて、皆さんの「〇〇の秋」は何ですか。どのようなことを頑張る秋にするのでしょうか。

先週、私は奈良京都への修学旅行に行ってきました。3年生がとてもしっかり行動していて、素晴らしい体験や思い出ができる学習になりました。

初日の奈良公園で、私は三月堂内の菩薩像を守る四天王の仏像を見る機会がありました。四天王とは、さまざまな分野に優れた存在として、仏教界の東南西北の四方を守り、広くは人々や国を守る守護神とされています。私は、四天王の中でも特に広目天、多聞天の2神の像に目を奪われました。そして、像の奥深さに心が釘付けになりながら、でもなぜ「広目」、「多聞」という名前なのかと眺め、思いにふけりました。

◆「広目」は、目で広く見渡すと書き、さまざまな世界を見る、見通して思考することと捉えられます。

◆「多聞」は、多くを聞くと書き、多く人や立場の意見を聞き、取り入れながら考えるという意味です。そもそも何かに取り組むとき、大事な事とは何でしょうか。一番は、自分が目指す方向（目標）に向かおうとする意欲や思いだと思います。その芯があれば、目指す方向の努力や頑張りは、自然と出やすいものです。

しかし、いくら努力し、頑張ったつもりでも、それが独りよがりでは、なかなか上手いきません。時々、自分自身が、広目・多聞の気持ちをもっていることが大事だと思います。

先週の2年生は、職場体験を通して社会で働く実体験や貴重な学習をしてきたと思います。職場の方々や巡回の先生方の声から、頑張って取り組んでいたと報告が届いています。職場体験でも広目・多聞という姿勢は大切なことだと思う2年生は、多かったはずです。物事に取り組むときや興味あることを追求して進むときに、意欲や姿勢こそが一番大事であることは言うまでもありませんが、心の中に広目・多聞の姿勢もつものぞむことが重要かと思えます。多くの意見があることを聴きとめ、自分の目で世界のさまざまに観て視野を広げ、物事を考えながら自分の意見を確かに行うことが大切であると私は思うのです。

1年生諸君も成長しています。先週はロンドン交響楽団の演奏家5人が来校しコンサートをしてくれたお礼として、1年生は3年生とともに素晴らしい「校歌合唱」を送ってくれました。ロンドン交響楽団の皆さんも、校歌の合唱に大変感激していました。私も先生方も校歌の合唱を聴くことは初めてで、校歌斉唱と一味違い、合唱ゆえの響きは、清明で格調高く、共に学校生活を謳歌する充実感のみなぎるハーモニーでした。

「〇〇の秋」。この言葉は、季候も気力・体力とも取り組みやすい季節を迎え、何事も意欲的になれる時、そして月日を重ねてさまざまに実る時期だからこそ、充実できる「〇〇の秋」となるものだと思います。その季節にあって、広目・多聞の気持ちを大事にしなが、自分が熱中して取り組みたいこと、目指すことに全力を注ぐ日々にしてください。皆さん自身の「〇〇の秋」を応援しています。

そして、今週末は中間考査、3週間後は御成門中三大行事の合唱コンクール。皆さんの頑張りが楽しみです。



名門オケの5人
出前コンサート
ロンドン▼御成門中
英国の名門オケストラ「ロンドン交響楽団」の団員5人による出前コンサートが28日、港区立御成門中学校（西新橋3丁目）であった。同中の1、3年生や



3年修学旅行の多聞天像・広目天像（2年職場体験「ケーキ木村屋」）（9/28朝日新聞記事・「ロンドン交響楽団へ校歌合唱」）

※ 職場体験を受け入れていただきました地域の事業所の皆様、本校2年生のために有り難うございました。